

調査書の記入・作成要領等

長崎県立鶴南特別支援学校

1 作成

- (1) 在籍(又は出身)校の校長は、志願者の調査書を令和7年12月31日現在で作成する。
 - (2) 本校所定の調査書様式は、本校ホームページから取得する。[\(https://www2.news.ed.jp/section/kakunan-ss/\)](https://www2.news.ed.jp/section/kakunan-ss/)
 - (3) 調査書の各欄は、特に指示するもののほかは、「指導要録」に基づいて記入し、作為があってはならない。
 - (4) 旧年度卒業生の調査書は、卒業後5年を超える志願者については、学籍の記録を除き記入を不要とする。また、卒業後20年を超える志願者については、調査書に代えて卒業証明書を作成して提出する。
- ※なお、旧年度卒業者の調査書の「現住所」欄は、志願者が現在居住する住所を記入する。

2 各欄の記入

調査書の表の欄

- (1) 数字は、原則として算用数字を用いる。※例外:身体障害者手帳の等級(一種1級)
- (2) 「性別」の欄は、「男」または「女」を記入する。
- (3) 「現住所」の欄は、「指導要録」に基づいて記入する。
- (4) 「略歴」欄には、「通常の学級」「重複学級」「通級による指導」「特別支援学級」のいずれかを記入する。「通級による指導」は学級ではないが、指導を受けていた場合は記入すること。また、「卒業見込」か「卒業」を記入する。
- (5) 「卒業後の状況」欄は、中学校卒業後の状況を具体的に記入する。
- (6) 「保護者」の「現住所」が志願者と同じであれば、「志願者の欄に同じ」と記入する。
- (7) 「標準検査」欄の田中ビネー、田中ビネーV、鈴木ビネー、WISC-IV、WISC-Vについては、結果を記入する検査が分かるよう、該当しない検査名は黒一本線で抹消する。その他の検査(遠城寺式乳幼児分析的発達検査等)は、右の空欄に記入する。また、実施していない検査項目には斜線を引く。
- (8) 「検査日」欄には、いずれかに3年以内に実施した検査結果を含め記入する。
- (9) 「検査結果」欄には、IQとSQは整数、MAとSAは○歳○か月で記入する。

調査書の裏の欄

- (1) 「出欠の記録」欄の欠席理由は、理由(病名、事故欠の種類等)を全て記入する。記入すべき事項が無い場合は、斜線とする。 例:病欠、事故欠合わせて12日の場合は(通院4、腹痛3、家庭の都合5)と記入する。
- (2) 「学習の記録」欄は、各教科等を合わせた指導の形態であっても各項目の該当する内容を記入する。
 - ・「総合的な学習の時間」欄は、第1学年、第2学年、第3学年の第一学期、第二学期における総合的な学習の時間の活動内容と評価を記入する。(二学期制をとる学校は、前期及び後期のうち令和7年11月末日までにおける内容と評価を記入する。)
 - ・「自立活動」欄は、個別の指導計画に基づき、個別に取り組んだ学習内容や評価について記入する。
- (3) 「健康診断の記録」欄は、健康診断票に基づいて記入する。
 - ・身長及び体重については、直近のデータを記載する。
 - ・「視力」欄の()内には矯正視力を記入する。
 - ・「聴力」欄は、異常がなければ「異常なし」と記入する。
 - ・いずれも、測定が困難な場合は「測定不能」と記入する。
- (4) 「療育手帳」等の欄は、全ての手帳の有無を記入する。有の場合は、等級を記入する。申請中の場合は「申請中」と記入する。
- (5) 「記載責任者」は学級担任とし、「職」については教諭、講師等の職名を記入する。押印は公印のみとする。